

今開す 赴京の

使者三員 泰那 吳実迦 皮揚那

通事一員 程璉

人伴一十一名

国王附搭の蘇木三千五百斤・胡椒一千五百斤・番錫五百斤

成化十七年（一四八一）八月十二日

右の符文は使者泰那及び通事程璉等に付し、此れに准ぜし

む

進貢等の事 符文

1-23-18

国王尚真の、進貢のため正議大夫程鵬等を遣わす符文

（一四八三、八、六）

琉球国中山王尚真、進貢等の事の為にす。

今、特に正議大夫程鵬を遣わし、長史蔡璋・使者尤那是古等と共に、表箋文各一通を齎捧せしむ。及び義字号海船一隻に坐駕して馬一十五匹・硫黄二万斤を装載し、京に赴き進貢し、仍お礼部に赴き告稟して進取せしむる外、茲の諭遣を承くれれば、途に在りて遅滞して便ならざるを得しむる母れ。所有の符文は須らく出給に至るべき者なり。

今開す 赴京の

正議大夫一員 程鵬

使者三員 泰那 皮揚那 伊試馬

都通事一員 梁徳

人伴二十二名

国王附搭の蘇木五千斤・胡椒一千五百斤・番錫五百斤

成化十九年（一四八三）八月初六日

右の符文は正議大夫程鵬及び都通事梁徳等に付し、此れに

准ぜしむ

進貢等の事 符文

注*この入貢については『明実録』成化二十年三月乙巳の条に記事がある。

1-23-19

国王尚真の、皇太子への進貢のため長史蔡璋等を遣わす符文

（一四八三、八、六）

琉球国中山王尚真、進貢等の事の為にす。

今、特に正議大夫程鵬を遣わし、長史蔡璋・使者尤那是古等と共に、表箋文各一通を齎捧せしむ。及び礼字号海船一隻に坐駕して馬一十五匹・硫黄二万斤を装載し、京に赴き皇太子殿下に進貢し、仍お礼部に赴き告稟して進取せしむる外、茲の諭遣を承くれ